

SAPPORO WAS DESIGNATED
AS THE CREATIVE CITIES NETWORK OF UNESCO.
SAPPORO: CITY OF MEDIA ARTS.



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



SAPPORO

City of Media Arts
Designated UNESCO
Creative City in 2013

ユネスコ創造都市ネットワーク 札幌市加盟記念フォーラム 「メディア・アーツ都市は なにをめざすのか？」

札幌市は、2013年11月11日、世界41都市で構成される「ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)創造都市ネットワーク(メディア・アーツ都市)」の一員となりました。

札幌市がユネスコから認定された「メディア・アーツ都市」は、都市そのものをメディア(媒介)としてとらえ、地域産業や国際観光交流の促進に貢献する新たなメディア技術を用いた文化芸術表現や、市民の自発的な表現活動とその経済活動の促進をめざすものです。札幌における具体的な取り組みとしては、雪まつりにおける3Dプロジェクション・マッピングや札幌国際芸術祭における先端的なメディア・アートの企画展示、さらには都市環境全体を新たなメディア技術によって付加価値化する試み、ソーシャルメディアなどによるまちづくりへの市民参加の促進、そして都市環境問題を解決するさまざまな知恵と創意工夫を開発することでもあります。

メディア・アーツ創造都市は、現在、リヨン市(フランス)とアンギャン=レ=バン市(フランス)、そして札幌市の3都市です。今回のユネスコ創造都市加盟記念フォーラムには、札幌と同時にユネスコ創造都市に認定されたパリ近郊の都市アンギャン=レ=バン市のキーパーソンが参加し、札幌からは創造都市・国際芸術祭担当者、メディア・アーツやクリエイティブ産業の専門家が集合します。本フォーラムでは「都市とメディア・アーツ」をテーマとし、両都市の取り組みを通じて、アジア初のメディア・アーツ都市としての札幌の展望を内外に示します。

2014年3月16日(日) 14:30開場・15:00開演~18:00(終了予定) **参加無料**
北翔大学北方圏学術情報センター(PORTO) 1Fホール 札幌市中央区南1条西22丁目

○参加申込: 2014年3月13日(木)までに、所属先、氏名、参加人数をご記入の上、右記メールにてお申込みください。 join@smal.jp

第1部「創造都市とメディア・アーツ」

基調講演「アンギャン=レ=バン市とメディア・アーツ—デジタル・アートはいかに公共空間を容容するか?」 ○ドミニク・ロラン氏

第2部「プレゼンテーション」 「アンギャン=レ=バン市と札幌市、両市におけるメディア・アーツへの取り組み」

○マリー・ルサージュ氏 ○酒井裕司氏(札幌市市長政策室プロジェクト担当部長) ○小田垣克彦氏(札幌市観光文化局国際芸術祭担当部長)

第3部「ラウンドテーブル」 「メディア・アーツ都市の課題と展望」

○伊藤博之氏(クリプトン・フューチャー・メディア代表取締役) ○深津 修一氏(株式会社プリズム代表取締役) ○ドミニク・ロラン氏 ○マリー・ルサージュ氏
○酒井裕司氏 ○小田垣克彦氏 ○モデレーター・武邑 光裕(札幌メディア・アーツ・ラボ所長)

ユネスコ創造都市ネットワーク(UNESCO Creative Cities Network)は、文化芸術の7分野(文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディア・アーツ、食文化)の内のひとつに焦点をあて、それぞれの都市が創造的な施策を展開し、加盟都市相互の文化・経済交流を通して、次世代のクリエイティブ産業の振興や、未来の都市課題と向かい合い、都市の持続可能性に取り組むことを目的としています。

●主催:札幌メディア・アーツ・ラボ(創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会)、北翔大学アートと生活をつなぐ創造的活動拠点づくり研究プロジェクト
●後援:札幌市、ユネスコ創造都市ネットワーク



SAPPORO MEDIA ARTS LAB

www.smal.jp/

DOMINIQUE ROLAND ドミニク・ロラン氏

アンギャン=レ=バン・アートセンター ディレクター、デジタルアート・フェスティバル“バン・ヌーメリック”芸術監督、
アンギャン=レ=バン市文化局長

◎プロフィール

ドミニク・ロラン氏は、2002年に設立されたアンギャン=レ=バン・アートセンターのディレクターであり、2005年に創設された国際デジタルアート・フェスティバル「バン・ヌーメリック」の芸術監督です。ロラン氏は同時に、アンギャン=レ=バン市政局長、アンギャン=レ=バン市文化局長です。2005年、ロラン氏は43名の国際的なメンバーから成るRAN(デジタルアート・ネットワーク)を創設しました。彼は著述活動のみならず、記録映画および音楽プロダクションの分野での視聴覚の監督をつとめます。彼の専門経路および彼の芸術的な感性は、アフリカ、キューバおよび南東アジアで文化的協力のプロジェクトに向かっていきます。ロラン氏はフランス芸術および文学界での功績から、フランス文化庁によってフランス芸術文化シュヴァリエ勲章を授与されています。

◎アンギャン=レ=バン市とクリエイティブ産業

アンギャン=レ=バン市は、パリ近郊の都市で、芸術におけるデジタル技術の利用に関する専門知識を開発してきました。2002年に設立されたアンギャン=レ=バン・アートセンターの総合ディレクターであるロラン氏は、市の経済分野にメディア・アーツを拡張し、技術革新とともに雇用創出のエンジンとして、このセンターをフランス最大のメディア・アーツセンターに発展させてきました。

アンギャン=レ=バン市は、革新的な企業の創出を支援するためのツールや芸術活動の開発の強みを重視し、ビデオゲーム、視聴覚生産、デジタル・サービスとアプリケーション(モバイルソフトウェアを含む)の開発に焦点を当てています。アンギャン=レ=バン市におけるビジネスインキュベーターの設置は、都市の文化政策と一定の相互作用を持つ経済発展の観点で優先事項となっています。テレプレゼンス、ストーリーミング、新しい空間演出だけでなく、アート・センターでサポートされているアート・プロジェクトで使用されるインタラクティブなデバイス開発は、クリエイティブビジネスの温床でもあります。

アイデアは、都市と地方の文化的慣習を越え、新しいプロジェクトを実験するために、市内に実際の生活研究室を確立することです。ノウハウと革新の発展と貢献が、アンギャン=レ=バン市を満たすこと。それが将来の課題なのです。

◎アンギャン=レ=バン・アートセンター(Centre des Arts, Enghien-les-Bains)

ドミニク・ロラン (Dominique Roland) 氏が所長をつとめるアンギャン=レ=バン・アートセンター(Centre des Arts, Enghien-les-Bains)は、2002年9月にパリ近郊のアンギャン=レ=バン市にオープンした新しい施設。造形美術、音楽、ダンス、映画、デザイン&建築、ITなどのジャンルをクロスオーバーさせた表現を発信するセンターとしてフランスで短期間のうちにユニークな評価を獲得した。4階建て総面積3000平米の建物には、400人収容のホール、100人収容のマルチ・スペース、ギャラリ、複数のスタジオのほか、アーティストが常時滞在制作できるように3階建てのゲストハウスを併設しているのが特徴。また、同センターは、2005年にフランス文化省より「デジタル・アート技術活用上演特別施設」の認定を受けている。



MARIE LESAGE マリー・ルサージュ氏

アンギャン=レ=バン・アートセンター 国際関係ディレクター、欧州・国際パートナーシップ 文化コーディネーター

◎プロフィール

アンギャン=レ=バン・アートセンターの国際関係ディレクターとして3年勤務(現職)。前職はスペインの文化財団において国際関係ディレクターを務め、カスティリア・ラ・マンチャ州議会の専門員として欧州のINTERREGプロジェクトにおいてパートナー12都市の地域間交流を担当した。

アンギャン=レ=バン・アートセンターでは、欧州および国際協プロジェクトの調整担当者として、主にメディアアーツ分野におけるカナダや南アジア地域のアーティスト、文化推進機関関係者とのプロジェクトを手掛ける(アーティストのレジデンス、優良事例に関する情報交換、テレプレゼンス事業)。また、国際デジタルアートフェスティバル「バン・ヌーメリック」では、アーティストや専門家、研究者、選ばれた代表者がデジタルアートやその経済性、地域発展への影響、広報活動をテーマに議論する専門家会議も担当している。

公的機関との関係や国際連携の調整も担当(フランス文化・コミュニケーション省)。アンギャン=レ=バンのユネスコ創造都市ネットワーク・メディアアーツ都市への加盟申請を担当し、現在も同ネットワークとの連絡担当者を務めている。

